

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

	66-0500
施設名	赤ちゃんの家保育園
施設所在地	町田市原町田6-27-10
法人名	社会福祉法人愛育会

1. 活動のテーマ

ちゅーりっぷ(3歳児)

<テーマ>

【泡】

<テーマの設定理由>

日頃からお風呂や手洗い、食器洗い、シャボン玉遊びなど、子どもたちの生活に身近な「泡」に触れる場面が多く見られます。その感触や不思議さに夢中になる姿があり興味・関心が高まっていることを感じた。また5月に行ったバブルアートでは泡に触れたいと手を伸ばす子が多く見られたことから「泡」をテーマに設定した。子ども達にとって身近な素材を通して泡の違いや変化を知り興味や関心をさらに広げていきたいと考えた。

2. 活動スケジュール

5月：バブルアート製作 6月：シャボン玉遊び 7月：シャボン玉液での泡遊び

8月：グループに分かれて泡の違いを知る 9月：子どもたち自身が気に入った泡での泡遊び

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

・シャボン玉液 ・固形石鹸 ・ペットボトル ・泡だて器 ・洗剤 ・モール
・ウエットティッシュ ・ハンドソープ ・ビーズ ・ボディソープ ・ストロー ・スポンジ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・バブルアートを元に泡について話をしたところ、触ってみたいという意見が多く出た。
・シャボン玉の吹き棒は各自モールで製作
・ペットボトルを切りウエットティッシュを付け保育士が泡製造機を作る
・色々な洗剤やせっけんを用意し泡立てて泡遊びをする中で泡の違いを知る。

<活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり>

泡遊びやシャボン玉の活動を通して子ども達は夢中になって泡を作り出す姿が見られた。泡を両手にのせ、運んだり伸ばしたり様々な関わり方を楽しんでいた。またスポンジを使って体を洗うような動きをするなど遊びの中で生活経験を取り入れる「出てきた!」と喜びながら保育士に見せる姿も多く見られ発見や驚きを共有する場面が広がっていた。さらに泡製造機については実際に使用したものを子ども達と写真を見ながら「楽しそう!これなら家でもつくれるね。」「お風呂でやってみようと思う」といった声も聴かれ遊びへの興味が日常生活へとつながっていく様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

生活の中で身近な「泡」を使用して思い切り遊ぶことができて良かった。

振り返ると手洗いなどで泡に触れることはあっても「遊び」として触れることはなく過ごす事が多いと感じた。どの石鹼や洗剤が泡立ちがよいのか、また色付けしたらどうなるのか等、子どもたちの探究心や発想や思考力を伸ばすきっかけに繋がったと思う。

今後も幼児期に色々な体験を行うことの大切さを念頭に置き身近なものでの遊びを試していく。